



埼玉大学 (埼玉県)

多様な日本語・日本文化科目を提供します

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

埼玉大学は、東京圏に位置した総合大学としての使命を果たしている。本学は、旧制の浦和高等学校、埼玉師範学校ほかを母体として1949年に創設されてから70余年が経過し、教育・研究の場の整備を着実に進めており、地域の学術交流の拠点に成長しつつある。留学生数は500人を超え、活発な国際交流が行われている。

また、海外からの研究者の受入れや本学教員の国際的研究活動も増加している。本大学は5つの学部とさらに高度な教育・研究を推進するための3つの大学院研究科を設置しており、修士課程(博士前期課程)、博士課程(博士後期課程)が設置され、充実した大学院教育・研究が行える。特に大学院理工学研究科では国立研究開発法人理化学研究所と協力して博士後期課程を組織し、他大学に先駆けた新しい形の大学院教育を展開している。

日本語・日本文化科目に関する講義を多く開講している教養学部は、人文と社会にわたる多様な専門分野を含み、それぞれの専門の研究を基盤としている。

同時に各分野を有機的に関連づける総合的研究並びに各分野間の境界領域を探索する学際的研究を特に重視しているのが特色である。専門性と総合・学際性の調和を図ることで、現代に相応しい教養、柔軟な思考力、総合的判断力を備えた人材を養成することが教養学部の基本方針である。

日本語教育センターは埼玉大学の外国人留学生を対象に日本語を学習する機会を提供している。

② 国際交流の実績

2025年5月1日現在、119件の大学間学術交流協定と44件の部局間学術交流協定を締結している。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2025年：留学生数503人、日研生5人
2024年：留学生数520人、日研生4人
2023年：留学生数528人、日研生0人

④ 地域の特徴

埼玉県は、関東平野の中央に位置する内陸県で人口はおよそ730万人、東京に隣接し、電車で約1時間の位置にある。東日本の交通の要衝であり、首都機能の一翼を担う県として大きく躍進している。埼玉大学があるさいたま市は、東京から北方へ20km、人口133万人を擁する県都、江戸時代からの伝統を受け継ぐ、文教・文化都市として発展しており、また、住みやすい住宅都市とも言われる程交通機関がよく整備され、緑豊かな環境とあいまってスポーツの振興も盛んに行われている。

< 埼玉大学 >



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

- a) 主に日本事情・日本文化に関する研修
- b) 主に日本語能力の向上のための研修

学生の専攻に合わせたいずれかのコース選択が可能である。

② 研修・コースの特色

10月～3月(第1期/入学年度 第3・第4ターム)は日本語を中心に学び、4月～8月(第2期/翌年度 第1・第2ターム)は、日本語学習を継続しながら、学生の専門領域(日本文化・日本語学等)の知識を高め、日本と母国の架け橋になる国際人を育成するためのプログラムである。

③ 受入定員

9名(大使館推薦6名、大学推薦3名)

< 埼玉スタジアム2002 >



④ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講希望する者は、次の1) 及び2) を満たす者とする。

1) 日本語能力を有する者

日常生活において基本的な会話や読み書きができる者。日本語科目を含めて多くの授業は日本語で行われるので、日本語で授業を受ける能力を有する者。日本文化を中心に学ぶ者は日本語能力試験（JLPT）でN2以上のレベル、日本語を中心に学ぶ者はN4以上のレベルであることが望ましい。
※大学推薦は日本語能力試験N2 以上に合格している、もしくはそれ相当以上の日本語能力を有していると判断できる者。

2) 日本語・日本文化に関する分野を専攻する者又は、他の専攻分野に在学しつつ日本語・日本文化等に関する分野を学習している者。

⑤ 達成目標

1) 日本語と日本文化に関する技能や教養、自らの専門分野の知識を高めながら、日本語で情報収集ができ、日本語による高度な口頭発表や文章作成が行えるようになること。

2) 将来、母国における日本関係のエキスパートになるための基盤を養うこと。

3) 首都圏にある都市「さいたま」の文化や特色を学ぶこと。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間 2026年10月1日 ～ 2027年8月下旬
(在籍期間 2026年10月1日 ～ 2027年8月31日)

埼玉大学では早期修了の制度はない。

⑦ 奨学金支給期間

2026年10月 ～ 2027年8月



埼玉大学
マスコットキャラクター
「メリンちゃん」

⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬：渡日(2025年は9月16～18日)
各オリエンテーション

10月上旬：第1期 授業開始

11月下旬：埼玉大学祭「むつめ祭」

2月上旬：第1期 授業終了

4月上旬：第2期 授業開始

8月上旬：第2期 授業終了

8月下旬：修了証書授与
帰国(2025年は8月30日～31日)

※研修期間中は、任意でホストファミリープログラム（ホームステイやホームビジット/時期は年度によって異なる）や、在学生向けの各種国際交流イベントに参加できる

⑨ コースの修了要件

受講した科目については、出席数・試験等規定を満たした場合に単位を与える。

右記⑩ 2) II) 選択科目 i)、ii)、iii)の中から14単位以上の修得を修了要件とし、修了者には修了証書を交付する。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴
学生自身の日本語能力や研究領域、関心等に合わせた内容の科目が受講できる。

埼玉大学の各学部、日本語教育センター、教育機構等で開講している科目の内から、在籍期間を通じて常に週7コマ以上、年間14単位以上を自由に履修すること。

学生の専門領域に当たる各学部専任教員が、指導教員として指導を行う。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目

学生の日本語能力や興味等に合わせて科目を履修するので、必須科目は設けない。

II) 選択科目

i) 日本語科目

- ・集中日本語コース
(初級Aクラス～上級Eクラス)
- ・学部「日本語」科目(上級)
(読解・作文・聴解・文章作成)

※選択科目ではあるが、a、bどちらのコースを選んだ場合でも日本語科目を履修することを強く勧める。

- ii) 教養・スキル・リテラシー科目として
開設される人文・社会系科目
(例) 日本史概説、日本文学・文化概説

iii) 教養学部等にて開設される日本語・日本文化等に関する授業科目

・上記 i)、ii)、iii)の中から、在籍期間を通じて常に週7コマ以上、年間14単位以上を受講する。

・時間数

1科目は試験を含めて16コマ
※1コマは90分

3) 見学、地域交流等の参加型科目

科目として開講されるかは年度により異なるが、任意で各種イベントやワークショップ等に参加できる。2025年は9月に武蔵丘陵森林公園バスツアー、11月には川越着物散策を実施(時期と内容は年度により異なる)

4) 日本人学生との共修等の機会

教養学部開講の国際共修科目では、日本人学生との協働を主体とした授業を履修できる。



⑪ 指導体制

- 1) 責任教員：所属学部指導教員
- 2) 協力教員：留学生担当教員
日本語教育センター教員
開設科目担当教員
- 3) 担当事務：所属学部事務室
留学・国際交流課



■宿 舎

埼玉大学には外国人留学生等が居住するための施設として、「国際交流会館」があります。ただし、提供できる部屋数が限られているため、申請しても入居できないこともあります。その場合は、自分で民間アパートを契約し、入居することもあります。



■修了生へのフォローアップ

Facebookに国際交流を目的とした卒業生と在学生が参加できるグループを立ち上げ、大学からの情報発信や、日本での生活や卒業後の進路等について参加者が自由に意見・情報交換を行うことができる場として活用している。

当プログラム修了生の多くは、所属大学に戻り学位を取得後、日本で進学や就職をしたり、母国で通訳・翻訳業務に従事したり、日本語を教えたりと、日本にかかわる活動を継続的に行っている。

■問合せ先

<担当部署>

埼玉大学 留学・国際交流課

住所： 〒338-0825

埼玉県さいたま市桜区下大久保255

TEL： +81-48-858-3011（直通）

FAX： +81-48-858-9675

Email： ryugaku@gr.saitama-u.ac.jp

<ウェブサイト>

埼玉大学ホームページ

<https://www.saitama-u.ac.jp>

埼玉大学・国際交流のページ（日本語）

<https://www.saitama-u.ac.jp/international/>

埼玉大学・国際交流のページ（英語）

<https://en.saitama-u.ac.jp/>

X(Twitter)

<https://twitter.com/kokusaisitsu>

Instagram

<https://www.instagram.com/kokusaishitsu/?hl=j>
[a](#)